

平成 17 年度国立大学法人東京海洋大学第 2 回教育研究評議会議事要録

日 時 平成 17 年 5 月 10 日(火)15 時～16 時 30 分

場 所 越中島会館セミナー室(3)(越中島地区)

出席者 高井学長、桑島理事、岡本理事、澤田理事松山海洋科学部長、
大津海洋工学部長、竹内海洋科学技術研究科長、岡田附属図書館長、
塩見評議員、長島評議員、苦瀬評議員、畑中評議員小池評議員

陪 席 渡部事務局長

事務担当者 秦総務部長、鈴木財務部長、鈴木学務部長ほか事務関係者

議 事

審議事項

1 名誉教授の称号授与について

松山海洋科学部長及び大津海洋工学部長から、資料 1「名誉教授の称号授与について」により称号授与候補者について説明があり、審議の結果、原案どおり 5 名に名誉教授の称号を授与することを承認した。

2 永年勤続表彰について

学長から、資料 2「平成 17 年度東京海洋大学永年勤続表彰(退職時)(案)」により死亡による退職に係る永年勤続表彰を 4 月 23 日付けで行ったので事後承認願いたい旨説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、事務局から、死亡退職時の永年勤続表彰については急を要することから、部局長等と相談し、事後承認を得る形で進めたい旨の提案があり、了承された。

3 教育研究評議会における学長候補適任者の選考について

事務局から、資料 3「教育研究評議会における学長候補適任者の選考に関する骨子(案)」等により、教育研究評議会が推薦する学長候補適任者の選考方法等について教授会等の意見を集約し修正を行った旨説明があり、審議の結果、「国立大学法人東京海洋大学教育研究評議会が学長選考会議に推薦する学長候補適任者の選考に関する規則」の制定を原案どおり承認した。

報告事項

1 平成 17 年度現代的教育ニーズ取組支援プログラムについて

桑島理事から、資料 4「平成 17 年度『現代的教育ニーズ取組支援プログラム』申請書」により、募集テーマ「仕事で英語が使える日本人の育成」に申請した旨の報告があ

った。

2 学長裁量定員による事務職員の採用について

学長から、3月8日付けで承認した学長裁量定員の取扱いにより、学長裁量定員に基づく事務職員の任用にあたっては、教育研究評議会に報告するものとなっていることから、資料5「学長裁量定員要望書」により、学務部入試課から要望のあった1名分について定員を措置する旨の報告があった。また、昨年6月に英語能力に秀でた事務職員を採用することを決定し、10月に1名を総務部研究協力課に採用した旨の報告があった。

なお、学長から、学長裁量定員に基づく教員の採用予定があるため、教員等人事委員会で審議後、報告する旨の説明があった。

3 日本学生支援機構奨学金返還免除候補者の推薦に関する業績評価方法の一部改正について

竹内研究科長から、資料6「日本学生支援機構奨学金返還免除候補者の推薦に関する業績評価方法について」により、業績の評価方法について、研究又は教育に係る補助業務の実績に基づくポイントの上限を定める一部改正を行った旨の報告があった。

4 全学委員会等報告について

全学委員会等で、課題、問題等になっていることについて、以下のとおり報告があった。

(桑島理事)

- ・学生支援委員会、留学生委員会、入試広報小委員会、留学生歓迎パーティについて

(岡本理事)

- ・研究推進委員会について

(澤田理事)

- ・江東区との防災協定の見直しについて
- ・平成18年度概算要求について

なお、学長から、教授会で全学委員会の報告を出席委員から行うようにし、全学的に情報を共有するようになりたいとの要望があり、情報伝達の方法については、各学部・研究科で検討することとなった。

また、学長から、専門職大学院設置プロジェクトチームを設け、検討を開始した旨の報告があり、専門職大学院の内容等について意見交換を行った。

5 第1回役員会について

学長から、4月21日に開催された平成17年度第1回役員会の概要について、報告があった。

以上

配付資料

- ・ 名誉教授の称号授与について(資料 1)
- ・ 平成 17 年度東京海洋大学永年勤続表彰(退職時)(案)(資料 2)
- ・ 教育研究評議会における学長候補適任者の選考に関する骨子(案)(資料 3)
- ・ 平成 17 年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」申請書(資料 4)
- ・ 学長裁量定員要望書(資料 5)
- ・ 日本学生支援機構奨学金返還免除候補者の推薦に関する業績評価方法について(資料 6)
- ・ 東京海洋大学が紹介された新聞記事・雑誌・TV 番組(配付資料)